

私のすすめるこの1冊

樋口 とみ子 (教職キャリア高度化センター 教授)

『たとえば「自由」はリバティか』

渡辺 浩 (著)

みなさんは「もっと自由気ままに過ごせたら」と思うことがありますか。「いや自由すぎても、かえって困るのでは」と思いませんか。いずれにしても、日頃、何気なく使っている「自由」という言葉には、「自分の思い通りになる」という意味や「自分の思うがままに」といった意味が込められている場合があります。

一方、英語圏に目を向けると、たとえばニューヨーク港のリバティ島にそびえ立つ「自由の女神(Statue of Liberty)」にも「自由」という言葉が用いられています。周知のように、liberty は日本語で「自由」と訳されます。しかしながら、「自由の女神」は必ずしも自分の思い通りになる気ままさを求めているというわけではなさそうです。

本書は、この「自由」という言葉がどのような経緯で、どんな意味を持つようになったのかについて検討しています。著者は日本政治思想史の研究者です。江戸時代の書物や中国の古典などにも立ち返ることで、古くから日本で使われてきた「自由」という言葉の意味(「みづからに由る」^よ「自分の思い通りになる」)を鮮明にするとともに、西洋から入ってきた liberty や freedom, free という言葉を翻訳する試みについても探っています。

著者によれば、西洋の liberty や freedom は、「奴隷のような状態にいないこと」を意味し、「自分が自分の主人である」

という「誇らしさ」や「倫理的尊厳」を伴います。反対語は slavery です。そのため、free state といえば「誰かに依存せず、圧政もされず、支配下にもなく、独立している」ことを含意して「政治的に自律的な国」を指すというわけです。他に由るのではないという点では古来日本語の「自由」と重なる部分があるものの、「思い通りにできる国」ではないのです。

幕末から明治初期にかけて、freedom や liberty を翻訳しようとした人々は、日本語にすることの難しさに気づいていたようです。試行錯誤のなかでは「自主任意」「自主之理」「不羈独立」「自由自在」なども考えられました。結局、すでに日常語として普及していて親しみのあった「自由」という言葉が、既存の意味内容も残しつつ、liberty や freedom の翻訳語として広まっていったと著者は指摘しています。

このように、本書では、異なる歴史や文化のなかで作り上げられてきた概念や用語に対して人々がどのように向き合い、それらをどう受け入れようとしてきたのか、その格闘の様子を垣間見ることができます。なお、「自由」以外に「権利」「公と私」「社会」などの用語も本書は扱っています。ふだん当たり前のように使っている言葉が持つ別の側面に思いをはせるとともに、本書では取り上げられなかった文献や用語についても「自由」に探ってみたいと私は思っています。

Part 2

『リクエストと投票で話題の本を読もう!』で購入した
図書からいくつかピックアップして、月別に紹介します。

リクエストと図書館員が選定した巻で話題の図書を対象に、みなさま
の投票で購入が決まります。2015 年度より、毎年実施している人気
の企画です。昨年度も、リクエスト・投票を
ありがとうございました。
話題の本をぜひご利用ください。



12-1月



川上和人
『鳥類学者の半分は、鳥類学
ではできてない』(新潮社)



雨穴
『変な地図』(双葉社)



古河郁
『世界のかげら図鑑』
(KADOKAWA)

10月

11-12月



高原剛一郎
『世界は聖書でできている』
(秀和システム新社)



青山美智子
『月の立つ林で』(ポプラ社)



杉井光
『世界でいちばん透きとおった
物語』(新潮社)

ハン・ガン作/きむふな訳

『涙の箱』
(評論社)



やなせたかし『やさしいライオン』
(フレーベル館)

リクエストと投票で話題の
本を読もう!

学生・教職員のみなさまからのリクエスト
をお待ちしています。どんどん参加してく
ださい!リクエストは随時受付中です。

【投票期間】

6月22日(月)~7月24日(金)

電子ブック全文試し読み実施中!

紀伊國屋提供プラットフォーム KinoDen における
電子ブック全文試し読みを実施中です!普段は目次
程度しか読めない試し読みが、期間中は1冊につき
5分間読み放題!!

また、気になった電子ブックの購入リクエストもできます。(リクエ
ストは利用統計や選書方針を元に購入可否を決定します)この機
会にぜひ、電子ブックの試読&リクエストをご利用ください!

【実施期間】6月1日(月)~7月31日(金)



京都教育大学
それはかなう夢講座

「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。

第52回のお知らせ

YouTubeで7月中旬に公開予定

【講師】門下 祐子

(総合教育臨床センター学びサポート室 講師)

【テーマ】先生になる方へおすすめ書籍5選!

<概要>教員をめざす学生の中には、保護者対応に不安を感じる人も少なくありません。

そこで本動画では、元特別支援学校教諭で現在は教員養成に携わる大学教員と、発達凸凹のある子どもたちやその家族・支援者への関係発達支援に取り組む心理士・大学教員が、「保護者とのかわり」をテーマに対談します。

学校現場と心理支援、それぞれの立場から、保護者理解の大切さや、子どもを中心にした関係づくりについて考えます。教員として求められる視点や姿勢について、一緒に学んでいきましょう。

主催:「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト委員会

後援:京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

今までの
回も視聴
できます。



おすすめ本紹介原稿を募集します!

あなたのおすすめ本を紹介しませんか?

図書館に所蔵されている本の中から、皆さんの愛読書や心に残っている一冊を紹介してみませんか。寄稿いただいた原稿は、図書館ニュースに掲載いたします。

【文字数】300~400字程度

【校正】1回のみ

【提出方法】原稿を Word ファイルで作成し、メールに添付して library@kyokyo-u.ac.jp 宛てにお送りください。

【掲載方法】掲載の可否・編集については図書館にご一任ください。

皆さんからのご投稿お待ちしております!



中庭コンサート(報告)

6月4日(木)13:00から附属図書館の中庭で、器楽基礎演習の受講生によるミニコンサートが開催されました。

トーンチャイム、ハンドベル、リコーダーや手持ち木琴の合奏など、美しい音色が響き渡りました。



日曜開館を実施します

日曜日(7月26日、8月2日)の10時から17時まで開館します。試験勉強などにぜひ!

夏季休暇に伴う長期貸出について

学部生:7月26日(日)~9月18日(金)

院生・教職員:7月11日(土)~9月9日(水)

【返却期限日】10月8日(木)

※卒業・修了予定者は9月10日(木)まで

職場体験(報告)

京都市立深草中学校の2年生が、6月9日(火)から6月11日(木)の3日間、チャレンジ体験として図書館業務に取り組みました。

資料の装備や貸出・返却業務、展示作業など、さまざまな仕事を体験していただきました。

その活動の一環として、6月11日(木)から6月30日(火)の期間、チャレンジ体験生が企画内容を考え、選書し、推薦文を作成した図書展示を行いました。



児童書コーナー(南館1階)

幼児教育科主催
えほんのもし

今月の絵本カード(学生作)

『めっきらもっきら どおんどん』

作:長谷川 摂子

絵:ふりや なな

出版社:福音館書店

※児童書コーナーに
かわいいカードが
飾られています。
ぜひ見に来てくだ
さい。



教育資料館 まなびの森ミュージアム

【7月の開館日時】

6日(月)、13日(月)、21日(火)、27日(月) 14:00~17:00



今月の逸品(6~7月)

『杉村尚《こころのとも》』

展示場所:附属図書館

教育資料館 まなびの森ミュージアム

<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 丸山 啓史 (発達障害学科 教授)

ビーガン・インクルーシブな教育に向けての課題

丸山 啓史

京都教育大学紀要 2026, No.148, pp.33-41
URI: <http://hdl.handle.net/20.500.12176/10098>



学校の給食では、毎日のように肉や魚、牛乳が出されます。社会科の授業では、漁業や畜産の役割が語られます。家庭科の授業では、肉や魚の栄養が示され、調理実習で卵料理を作ったりします。理科の授業は、動物の解剖を扱う場合があります。遠足で動物園や水族館に行ったりします。学校での動物飼育も珍しくありません。

こんなことを書いても、「それが何？」と思われるかもしれません。現在の社会では、人間以外の動物を人間のために利用することが当たり前になっています。学校教育は、動物利用を「当たり前」と思わせることに一役買っています。

一方で、日本の国外の議論や研究に目を向けると、人間による動物の搾取をなくしていこうとするビーガンズムの考え方などを背景に、学校のなかの人間中心主義を問い直そうとする動きがあります。

ビーガンズムに共感する人もいれば、そうでない人もいますが、いずれにせよ、現在の日本ではごく少数だとしても、ビーガンであろうとする子ども・保護者・教職員がいます。インクルーシブ教育をめざすのであれば、ビーガンを排除しない「ビーガン・インクルーシブな教育」の実現が求められます。インクルーシブ教育は、障害児者の包摂だけを意味するものではありません。

本論文では、英語で公表されている議論や研究を整理し、ビーガン・インクルーシブな教育に向けての課題を探っています。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要148号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>に掲載されています。

開館日程 □9:00-20:00 □9:00-17:00 □10:00-17:00
□9:00-21:00 ■休館(CLOSED)

2026年7月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

7/1 館内整理日
7/25 大学院入試

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

2026年8月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8/3-8/7 前期末試験
8/8-9/30 夏季休業
8/13-8/14 夏季一斉休業

●京都教育大学附属図書館ホームページ → <https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>



← 公式 Instagram

アカウント名称: 京都教育大学附属図書館
ユーザーネーム: @kyotokyoikuunivlib

京教図書館 News No.310 (2026年7月号)

発行日: 2026年7月1日

編集発行: 京都教育大学附属図書館

問い合わせ先: library@kyokyo-u.ac.jp



国立大学法人
京都教育大学
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION